

第1回 天橋立公園松並木景観保全委員会 議事要旨

開催日時：令和5年12月8日（金）15:30～17:30

場 所：宮津総合庁舎 別館講堂

■ 第1回委員会でいただいた主なご意見

（松並木景観保全作業の評価について）

- ・ 広葉樹伐採によって風通しや光等が昔の絵のような松林に変わってきた点は評価できる。
- ・ 内海側でもベンチに座って景色を楽しんでおられる方をよく見かけたので非常に良かった。
- ・ 天橋立公園に手を入れることに否定的な方にも理解いただけるような説明の場を設けることが必要である。
- ・ 砂浜にある海浜植物を保全していく観点からの管理も考えていく必要がある。
- ・ 広葉樹伐採によってすっきりした松林になりつつある一方、草地化が進行している。どのように管理していくのかが次期計画の重要なポイントになる。
- ・ 小天橋は維持管理を進めることによって白砂青松の松林となる。

（補植マツの管理計画(案)について）

- ・ 命名松の2代目は別のところに確保しており、接ぎ木によって容易に増やすことができるため、命名松を補植した箇所においても一般の松と同様に間伐を行い、最終的に数本が残るように管理していく。
- ・ 「松枯れで松が枯れない」というのが計画の前提であり、抵抗性松を植えて育てていくことが必要である。

（その他）

- ・ 庭師による整枝剪定も必要ではないか。
- ・ 高齢木の枯れ枝除去や枝の選定などの危険木対策も必要である。
- ・ 樹木台帳の更新が必要であり、更新時には胸高直径も測って欲しい。

（以上）